

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 1 月 4 日作成)

小委員会名	農山漁村文化景観小委員会		主 査 名：神吉紀世子 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会		委員長名：岡田 知子
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2014 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農山漁村の「文化的景観」保全に取り組む先行事例の比較研究</li> <li>・2006～2009年度農山漁村景観保存小委員会の成果を発展させ、文化的景観に関する書籍を出版する</li> <li>・各地の事例地においてワークショップ等を開催し技術的支援を行う</li> </ul> <p>2010年度：書籍『未来の景を育てる挑戦－地域づくりと文化的景観の保全』の出版にむけた事例調査、企画の精査、執筆。フィールドスクール事業の試行的実施（和歌山県田辺市中辺路町）。</p> <p>2011年度：書籍の出版・編集とそれにあわせた大会研究協議会の開催。第1回の文化的景観フィールドスクール事業の開催（兵庫県高砂市）。</p> <p>2012年度：委員公募の実施を含め、委員の再構成。第2回の文化的景観フィールドスクール事業の開催（大阪府泉佐野市）とそのシリーズ化の検討。</p> <p>2013年度：第3回の文化的景観フィールドスクール事業。HP等による情報発信や国際的交流の場の設定。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有		
	主査：神吉紀世子（京都大学） 幹事：小浦久子（大阪大学）、工藤和美（明石高専） 委員：川口友子（農村開発企画委員会）、宮川智子（和歌山大学）、福島綾子（九州大学）、熊野稔（徳山高専）、植田暁（NPO法人景観ネットワーク）、月舘敏栄（八戸工業大学）、不破正仁（神戸芸術工科大学）、山口尚之*（タステンアーキテツ）、西嶋啓一郎*（第一工業大学） <span style="float: right;">*公募委員</span>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2012 年度予算	115,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/">http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 文化的景観フィールドスクール 2013「日根荘の里・大木の文化的景観を学ぶ」 参加者数 22 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 昨年度書籍を出版し活動に一区切りがついたことから、委員構成を改めることとし、新委員の公募を行い 3 名の委員を迎えた。 2. 昨年度から開催を始めた「フィールドスクール」を大阪府泉佐野市にて開催。（活動計画では 2 回をめざしていたが、準備等を含めると 1 回開催が適当とわかった。） 3. 未調査だった文化的景観の新規事例について委員により調査を行った。 4. 当初計画では予定していなかったが、インドネシアや熊本県山都町、京都市等の事例地との交流の機会が出来、委員が発表や交流を行った。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 来年度が最終年度であるので、今後に資するまとめの議論を行いたい。 2. HP等による情報発信の充実をひきつづき課題として取り組む。 3. 海外の研究者等との交流の方法を検討したい。